

2019年5月10日

各 位

会社名 蛇の目ミシン工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 大場 道夫
(コード：6445 東証第一部)
問合せ先 執行役員経営企画室長 山本慎一郎
(TEL 042-661-3071)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2019年度から2021年度までの3ヵ年を対象とする中期経営計画「JANOME 2021 Navigation for the Future」を策定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

中期経営計画『JANOME 2021 Navigation for the Future』
(2019年度～2021年度)

当社は二年後の2021年に創業100周年を迎える今、これを一通過点として次の100年も永続的に成長する企業であるよう、この中期経営計画「JANOME 2021 Navigation for the Future」を策定し、全社一丸となって、この計画実現に取り組みます。

1. 基本方針

(1) 「新生ジャノメ」への飛躍

主力である家庭用ミシン事業については事業基盤の強化に努め、産業機器事業については積極的な投資を行い、活発な営業活動を行うことにより、より強固な第二の柱とし、ミシン専門メーカーから「新生ジャノメ」への飛躍を遂げる。

(2) 製造原価低減、販売・管理コストの削減による収益基盤の強化

高品質を堅持しつつ、メーカーとしての永遠の課題である原価低減、生産性向上、販売・管理コストの削減に取り組む。

(3) 開発スピードアップと市場の潜在需要を先取りした製品開発

開発期間短縮を最重要課題の一つとして取り組み、市場の動向を注視し、潜在需要を先取りした魅力的な製品を、より早いサイクルで市場投入する。

(4) 経営資源の集中と有効活用

優先順位を見極め、取捨選択を行うことにより投資の効率化を図る。

(5) 人財育成

永続的な成長のために、「企業は人なり」の基本精神に立ち返り、人財の育成と、知識・技能の承継に取り組む。

(6) 企業価値の向上

株主・従業員を含む全てのステークホルダーとのより一層良好な関係を構築し、企業価値を高める。収益構造の改善と企業体質の強化に努め、営業利益率 8%、自己資本比率 50%、自己資本純利益率 (ROE) 8%、総資産経常利益率 (ROA) 7%を中期目標とする。

2. 重点施策

(1) 家庭用機器事業

- ・リーディングカンパニーとして業界を牽引し、市場の健全化に努める
- ・世界市場シェア 2 割 (180 万台) 確保
- ・欧米市場における高付加価値製品の拡販
- ・地域特性に応じた製品投入、マーケティング展開
- ・日本国内の既存インフラを最大限に活用したエリアマーケティングの推進
- ・講習会やイベントを通じた高付加価値製品の拡販と需要の創出

(2) 産業機器事業

- ・海外有望市場、未開拓市場への積極的な進出、営業展開
- ・国内外の営業・サービス拠点の拡充
- ・製品と付随設備のパッケージ販売の促進

(3) 生産部門

- ・材料の調達先・調達方法の見直しによる原価低減
- ・業務効率化による生産性向上
- ・適地適産を念頭に置いた生産体制の最適化

(4) 開発部門

- ・次世代プラットフォームの構築による開発期間短縮
- ・要素技術の開発と蓄積
- ・技術水準向上に向けた人財育成
- ・市場ニーズを的確に捉えた魅力的な製品開発

(5) 全部門

- ・ステークホルダーとの良好な関係構築による企業価値向上
- ・働き方改革の推進による生産性の向上、ワーク・ライフ・バランスの同時実現
- ・人財育成、個々の能力の向上

3. 数値目標

・連結計数

	2019年3月期 (実績)	2022年3月期 (目標)	2019年3月期比
売上高 (百万円)	38,153	45,000	+6,847
営業利益 (百万円)	1,150	3,600	+2,450
(営業利益率)	3.0%	8.0%	+5.0P

・主な財務計数

	2019年3月期 (実績)	2022年3月期 (目標)	2019年3月期比
ROE (自己資本純利益率)	3.6%	8.0%	+4.4P
ROA (総資産経常利益率)	2.7%	7.0%	+4.3P

以上